

2016.7.3

山形県民間教育研究団体連絡協議会  
会長 早坂 久佳



## 第65回東北民教研「秋田・男鹿」集会へ

2016.8.6(金)～8.8(日)

「教師は実践記録をかき時間なんてないんだ、過去のことをふりかえるよりも次の計画を考える方が自分にとって必要なんだ。」と、しばしばそんな声を聞くことがあります。たしかに次々と課題を下ろしてくる教育行政によって多忙化とストレスの波が現場の教職員に襲いかかっている現実があります。

だから、私はこういう話がでたら「そうだよね、今回の実践を計画から考えて、しっかりと総括ができるようにしていきたいね。」と投げかけてきました。

過去の出来事をふりかえる(省察)ということは、決して未来を軽視するものではないし、むしろ未来へのたしかな自分のあゆみを明確にしてくれるものです。

唯一の正解はない教育活動には、今日(今学期)の私のあの子への対応はどうだったのか、子どもに寄り添っていたのかななどを検討し続けるしかありません。省察とは、子どもの学習の価値や教師の支援の妥当性をしっかりした根拠に基づいて考察し、未来を創るための意識的で能動的な思考のことです。

さて、今年もまた「省察」に触れる学びの季節がやってきました。子ども達の未来はきな臭い暗雲が立ちこめている昨今です。東北の隅々で地に足の着いた太く長い実践に取り組んでおられる幼保小中高大の教職員はもちろん、人間を育む仕事が好きで、しなやかに学び続けたいと願うたくさんの人たちが集います。不易のテーマは「やさしい言葉で深い思想を！」この東北に60有余年脈々と受け継がれてきた普段着の教育研究集会です。今年「秋田県男鹿温泉」が会場です。

男鹿半島の豊かな自然と温泉に浸りに出かけませんか。記念講演は俳優座で活躍中の女優「有馬理恵」さんです。素敵なお話とお芝居のダイジェストシーンを鑑賞できます。貴重な夏休み、その中のわずかに残された休養の数日間かと思えます。休養したいですよね。修養を兼ねた休養があってもいいんじゃないでしょうか。間違いなく「充電」できて「元気」を回復する機会になります。心よりお誘い申し上げます。

期末終業まで、まだまだ忙しい毎日が続きます。どうかお元気でお過ごしください。男鹿でお会いしましょう。